

1. 統合・改築の理由

両校の学校規模

両校ともに学校教育法施行規則に基づく標準規模(12~18学級)を下回っています。

学校施設の老朽化

下小岩小学校は築61年、下小岩第二小学校は築57年となり、早期に学校改築を行う必要があります。

年少人口の減少

両校がある小岩地域の6~11歳の人口は今後減少する傾向にあり、特に2030年以降の減少が顕著となる見込みです。

小岩地域の人口推計(6~11歳) (単位:人)

	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
6~11歳	4,129	4,126	3,858	3,613	3,319
2020年比		0.1%	6.6%	12.5%	19.7%

参考 児童・学級数の推計

		R2	R3	R4	統合	(単位 上段:人 下段:学級)			
		R5	R6	R7		R8			
下小岩小	児童数	257	273	271	統合	483	494	541	549
	学級数	11	12	12		15	16	18	18
下小岩二小	児童数	188	194	208					
	学級数	7	7	7					

下小岩小学校と下小岩第二小学校の校舎老朽化による建て替えのタイミングにあわせ、将来的な児童数の減少も見据え、両校の統合を行う。

統合・改築の概要

- ・下小岩小学校と下小岩第二小学校を令和5年4月に統合します。
- ・令和5・6年度に下小岩第二小学校敷地で新校舎を建設し、工事期間中は、下小岩小学校の校舎と仮設校舎で学校運営を行います。
- ・令和7年4月より新校舎で学校運営を開始します。
- ・学校改築事業に合わせてスーパー堤防(新中川)の整備を検討中です。

2. 統合による効果と課題

【効果】

- ・新たな児童同士の出会いが増える。
- ・多様な意見と触れ合う機会が増え、学力や学習意欲が向上する。
- ・音楽、体育等の集団で行う授業が充実する。
- ・競争性が生まれ、意欲や成長がより感じられる。
- ・社会性やコミュニケーション能力が高まる。 など

【課題】(「 」は対応案)

- ・児童が新しい環境に慣れるまでのフォローが必要。
新しい環境にすぐ溶け込めるよう統合前に児童交流を実施します。
- ・児童一人あたりの校舎・校庭面積が狭くなることによる活動への影響。
新校舎の設計上の工夫により校舎・校庭面積を確保します。
- ・通学距離や通学時間が長くなる場合がある。
通学区域の変更に合わせて、より安全な通学路の設定を行います。 など

更なる教育環境の向上を図る

3. 統合に向けた取り組み

主な検討事項

- ・校名・校歌・校章の方針
- ・統合後の通学区域及び安全な通学路の確保
- ・学用品の方針
- ・児童交流の方法・時期
- ・少人数学級(30人学級)の動向 など

- ・今後、統合に係る諸課題について検討し、統合前の準備や調整を行っていきます。
- ・検討事項は、説明会や区ホームページで保護者の皆様へ適宜お知らせいたします。

区ホームページ QRコード



下小岩小・下小岩第二小 統合・改築事業スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
改築スケジュール		新校舎の設計	下小岩二小敷地 下小岩小敷地 仮設校舎建設	旧校舎解体 仮設校舎利用 仮設校舎で学校運営	新校舎建設	新校舎利用 外構・校庭整備 校庭代替期間（校庭利用不可） 仮設校舎解体工事
統合スケジュール	統合に関する諸課題について協議・検討を行います。	合同会議	学校を中心に、教育内容や学校運営などに関する具体的な事項について協議・検討を行います。	学校統合		
事業概要	下小岩第二小学校	下小岩小学校	下小岩第二小学校	下小岩小学校	下小岩第二小学校	下小岩小学校
		令和4年度中に敷地の一部に仮設校舎を建設	既存校舎解体工事及び新校舎建設工事	下小岩小の校舎及び仮設校舎で学校運営を開始	新校舎完成	校庭整備工事 仮設校舎解体工事
	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度末までは、下小岩小・下小岩第二小共に、既存校舎で学校運営を行います。 令和4年10月頃から下小岩小の敷地内に不足教室を補う仮設校舎を建設します。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月に統合し、令和6年度末まで下小岩小の校舎及び仮設校舎で学校運営を行います。 その間、下小岩第二小の校舎解体工事及び同敷地で新校舎建設工事を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 下小岩第二小敷地に建設された新校舎で学校運営を開始します。 令和7年度は校庭整備工事を行うため、近隣校の校庭利用などを調整します。 	